

＜食育推進計画（第3次）策定に関するアンケートの調査概要＞

1. 調査の目的

市民の食育に関する実態、意識等について調査します。その結果を、市民の食育推進のあり方を方針として定める「食育推進計画」策定の基礎資料とすることを目的とします。

2. 調査の名称

「食育に関する市民アンケート調査」

3. 調査対象者

- 1) 市内5地区（東部、大曲、西の里、輪厚、北広島団地）の男女別、年齢階層別人口比率を考慮し、無作為に抽出された18歳以上の市民 合計1,000名
- 2) 市立小学校2年生、5年生、市立中学校2年生 合計約1,340名

4. 調査の方法

- 1) 年齢の高い順に600名は郵送回答。残り400名はインターネット回答。
- 2) 対象児童に各学校からアンケートを配布してもらい、学校に提出。

5. 調査期間

- 1) 令和3年8月10日（配付）～8月25日（回収期限）〈予定〉
- 2) 令和3年9月中旬～下旬〈予定〉

調査票の記入は、回答者が直接記入とする。

6. 設問項目

別紙調査表のとおりとし、前回計画策定時との比較をするため、同様の設問を精査し活用する。国の第4次食育推進基本計画に掲げる目標における当市の実態を把握をするため、新たな設問を追加します。

回答者の属性

回答者の住所、性別、年齢、家族構成、職業、健康状態など

食育に関すること

食に関する意識・関心、朝食の摂取状況、共食の状況、惣菜や弁当の摂取状況、食事バランス、調理技術等の伝承、食品ロスの取り組み、農林漁業体験など